

仙台防災未来フォーラム 2021 において、ポスター展示・ブース展示を実施しました (2021/3/6-7)

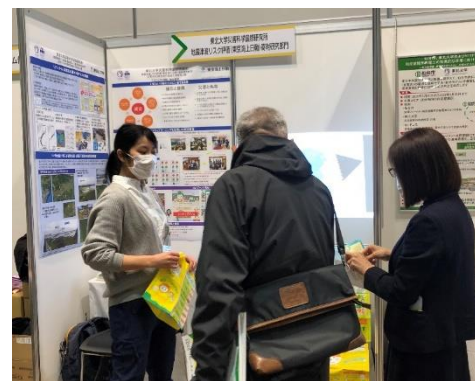
テーマ：産学官連携、情報発信、防災・減災
 場所：仙台国際センター（宮城県仙台市青葉区）

2021年3月6（土）・7日（日）に、仙台国際センター（宮城県仙台市青葉区）において、仙台防災未来フォーラム 2021 が開催されました。このフォーラムは、東日本大震災の経験や教訓を未来に繋ぐため、セッションやブース展示、体験型イベントなどを通じて市民のみなさまが防災を学び、日ごろの活動を発信できるイベントとして実施され、今年は「東日本大震災から10年 よりよい未来のために」がテーマでした。地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門としては、初回の2016年から数えて今回が5回目の出展となります。

今回の展示においては、「震災から10年～産学連携によるレジリエントな社会の構築」と題し、2012年発足以降に本部門が行ってきた研究・実践活動の紹介と、当部門の考えるこれからの使命について、2日間ポスター展示を実施しました。また2日目には、ブース展示として、3点のポスター展示、津波シミュレーションおよび防災教育活動等の動画デモ、防災クリアファイルとポスター印刷物の配布を実施しました。ブースでは、地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門のサッパシー・アナワット准教授、山下啓准教授、内田典子助教、宮本龍助手、保田真理プロジェクト講師が説明対応に当たり、郡和子仙台市長を始め、防災・減災に強い関心を持つ方や地域で防災を担当されている方が立ち寄り、多くの質問やご意見をいただくような場面も見られました。当ブースにあわせて200名ほどの方々に足をとめていただき、盛況のうちに出展を終えました。



ポスター展示の様子



ブース展示の様子



ブース展示の様子



ブース展示の様子
 （郡和子仙台市長への説明）